

2022年8月21日

課題名：救急外来での push-dose ノルアドレナリンの投与と予後に関する研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、ノルアドレナリンの断続的な投与の実態を調べています。本研究では効果や安全性を明らかにすることを目的とし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019年1月から12月までの間に、救急外来に受診された18歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

電子カルテから得られる病歴、検査所見、重症度、予後、合併症等の下記の情報を使用します。

性別、年齢、人種、主訴、初期診断、併存疾患、既往歴、服薬歴、転帰、救急外来担当医の経験年数・所属、救急外来滞在時間、外傷であれば受傷機転、救急外来での検体検査結果、入院後転帰、気管挿管の有無、挿管の方法、投与された薬剤、ノルアドレナリンの投与量・投与回数・時間・投与理由、処置、血圧、脈拍数、治療内容、薬剤投与による副作用、投薬エラー、入院日数、身長および体重、入室経路、心停止蘇生後の有無、ICU病名、ICU滞在時間、腎代替療法、クレアチニン最高値と最低値、尿量、急性腎障害の有無、人工呼吸器継続時間、重症度の評価

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。また、データ解析のため共同研究機関である広島大学へ個人を特定できない加工された情報の提供を行う可能性があります。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
救急科 研究責任者 山本篤史

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明